

〔表 I〕

I 教員養成課程履修基準

| 科目区分及び目的 | | | 単位数 | | | | 計 | |
|------------------|---|---|--|-----------|--------------|------------|---------------|----|
| | | | 小学校 対応 | 中学校 対応 | 特別支援 学校対応 | 養護教 諭対応 | | |
| 教 養 科 目 | 共通基礎科目 | 情報機器等を活用しながら大学での学びに必要な知識・技能を修得するとともに、教師に求められる基本的・社会的知識、倫理観、人権意識、心身の健康維持、コミュニケーション能力等の修得を目的とする。 | 日本国憲法 | 2 | 2 | 2 | 2 | 26 |
| | | 体育 | 2 | 2 | 2 | 2 | | |
| | | 情報機器の操作 | 2 | 2 | 2 | 2 | | |
| | | 外国語・外国語コミュニケーション | 6 | 6 | 6 | 6 | | |
| | | 倫理・人権 | 2 | 2 | 2 | 2 | | |
| | | アカデミックスキル | 2 | 2 | 2 | 2 | | |
| | 基礎教養科目 | 人間としての在り方や生き方及び社会との関わり方への洞察などを通じて人間性の基礎を培うとともに、人文科学、社会科学及び自然科学の基礎となる知識や方法論を修得し、自ら課題を発見し解決する力の基礎を培うことを目的とする。 | 人文科学入門 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 社会科学入門 | | | | | | |
| | | 自然科学入門 | 2 | 2 | 2 | 2 | | |
| 現代的教養科目 | 大学で修得した知識を統合し、現代社会の諸問題を学問横断的に俯瞰することができる能力を培うとともに、問題解決に際し必要な他者との協働・共存の在り方について学ぶことを目的とする。 | 現代的教養科目 | 4 | 4 | 4 | 4 | | |
| 専 門 科 目 | 教職課程コア科目 | 教科に関する専門科目 | 小学校又は中学校の各教科の目的や児童生徒の発達特性を踏まえた教科内容の理解と、各教科内容を教えるのに必要な知識や技能の系統的な理解を図ることを目的とする。 | 20~32 | 24 | 4 | 93 ~ 97 | |
| | | 教科指導科目 | 教科に関する専門科目をもとに、教育実践に関する科目や教育フィールド科目での活用を視野に入れ、授業構成や指導方法、児童生徒理解など、教科指導に必要な基礎理論と方法を修得することを目的とする。 | 20~22 | 20 | 12 | | |
| | | 教育の基礎的理解に関する科目、道徳・生徒指導等に関する科目 | 学校教育に関わる基礎的な理論と方法を修得し、それらを活用することで多様な教育課題を捉え、適切に対応できる力の素地を培うこと、及び他の教職員や地域住民と協働して教育実践を展開する基礎を培うことを目的とする。 | 20 | 20 | 20 | | 20 |
| | | 実践・省察科目 | 教育に関わる様々な場면을体験し、関連する講義・演習によって修得した基礎理論と方法を基にした技術的・実践的な省察を通して、省察に必要な力や教科及び教職に関する専門的な知識等を実践で活かすための基礎を培い、実践上の自己の強みやよさ、課題を自覚するとともに、教師に必要な資質能力を獲得することを目的とする。 | 15 | 15 | 16 | | 15 |
| | 専攻科目 | 教職課程コア科目で修得した知識等を活用して特定の分野に関する専門性を高め、自分の得意分野を確立することを目的とする。 | 8~22 | 14 | 43 | 62 | | |
| 研究発展科目 | | | 7~11 | | | | | |
| 卒業研究 | | | 4 | | | | | |
| 卒業に必要な単位数 | | | 134 | | | | | |